

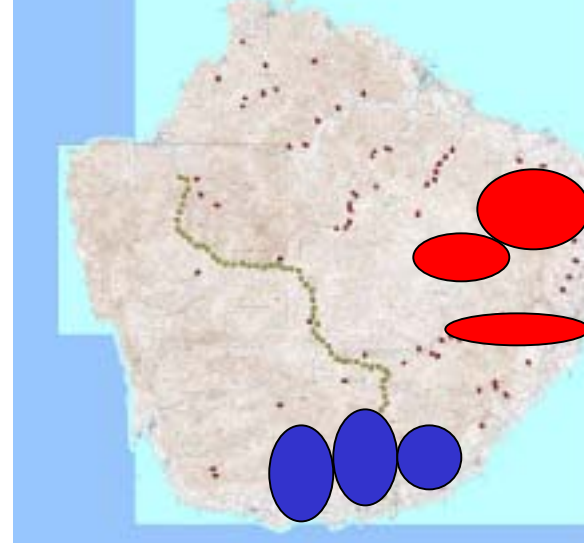
ヤクシカ3地域管理 私案

2006年11月26日第3版

松田裕之

保全上重要な地域

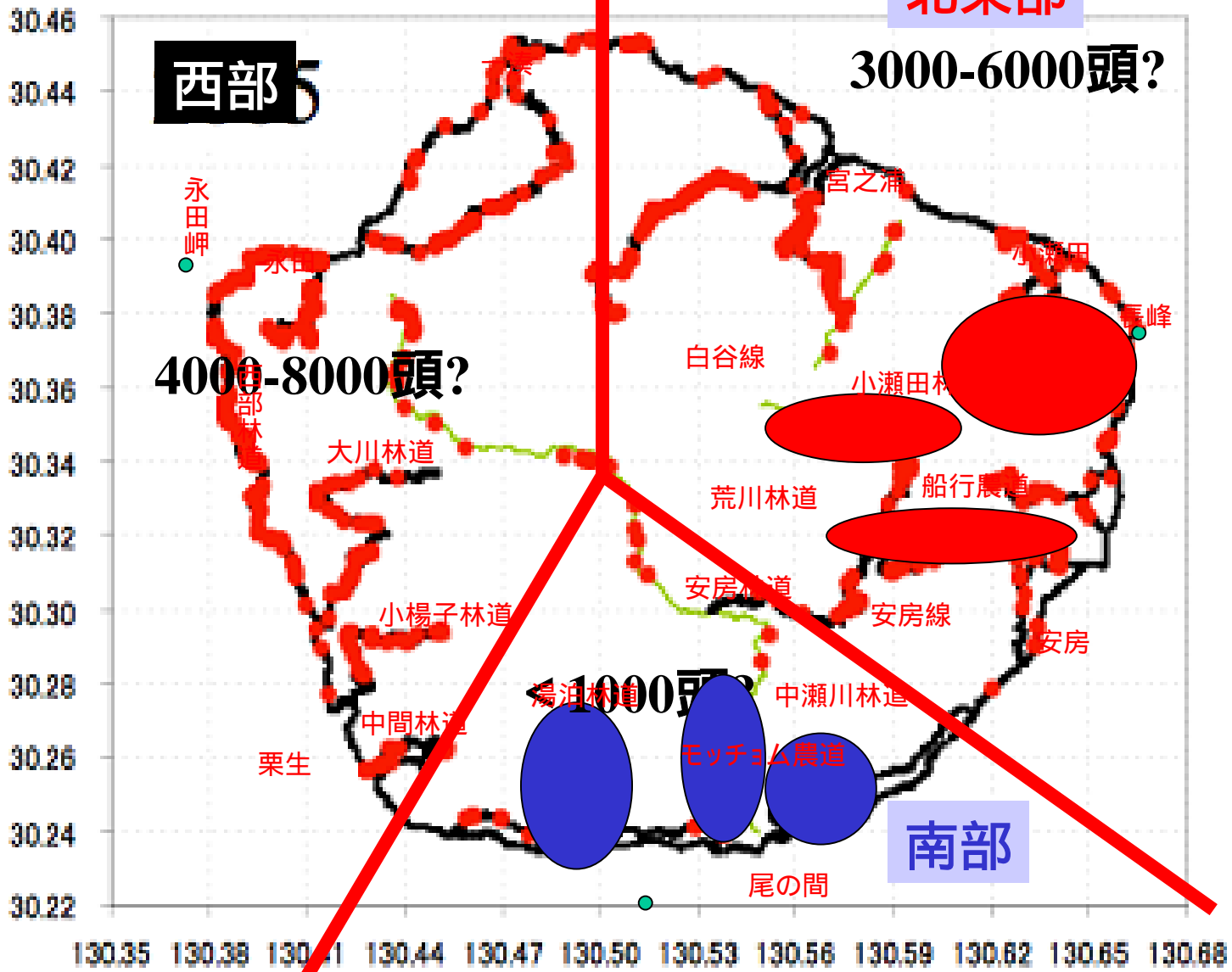
- 希少植物が多く、
鹿による摂食圧が高い地域
 - 安房林道下部・愛子岳下部・小杉谷など
 - 林道の存在がシカの移動・増加要因？
- 希少植物が多く、摂食圧が低い地域
 - モッチョム岳・尾の間歩道下部・南部林道など
 - 移動経路が制限され、高い駆除圧



愛子岳の位置確認

鹿目視調査発見箇所(2005)

(夜間ライトカウント)



高橋裕史さん
澤田史良さん

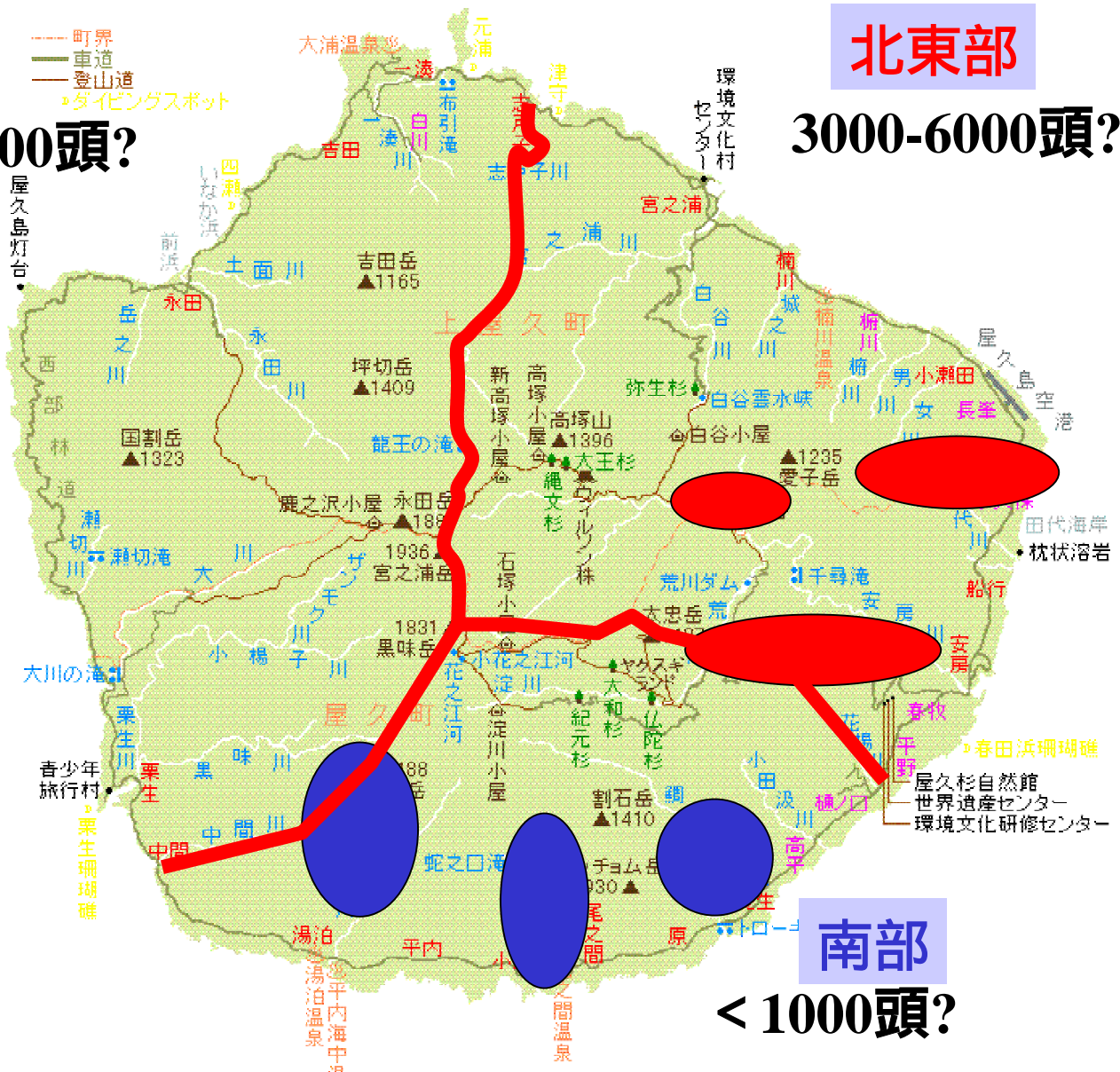
3分割ヤクシカ管理案

西部

4000-8000頭?

北東部

3000-6000頭?

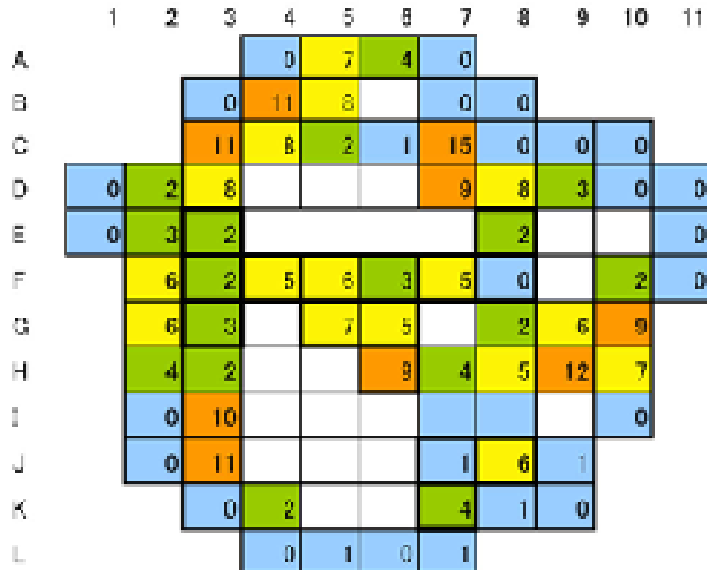


南部

< 1000頭?

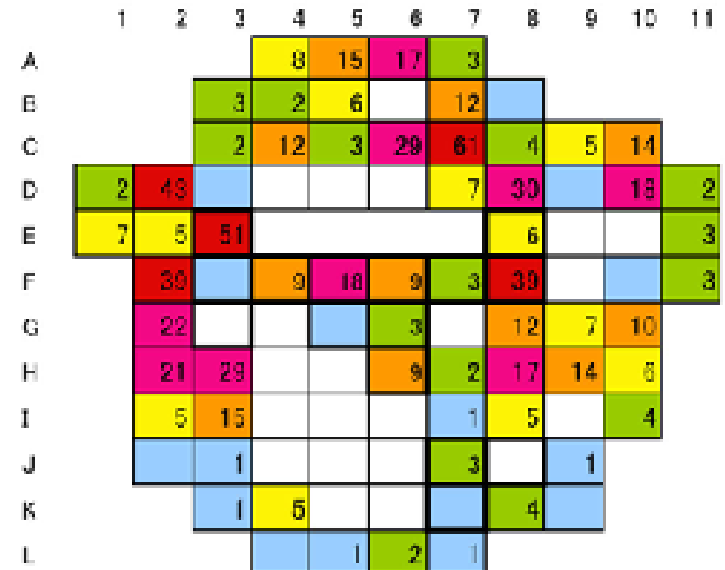
シカ目撃頻度の増加

1995



2005

永田琴道入口を除く



全体的な目撃頻度の増加 (0.33 → 0.92/km)

過密地域の存在 (西部、北東部)

海岸部への分布拡大 (県道より下へ)

南は低密度

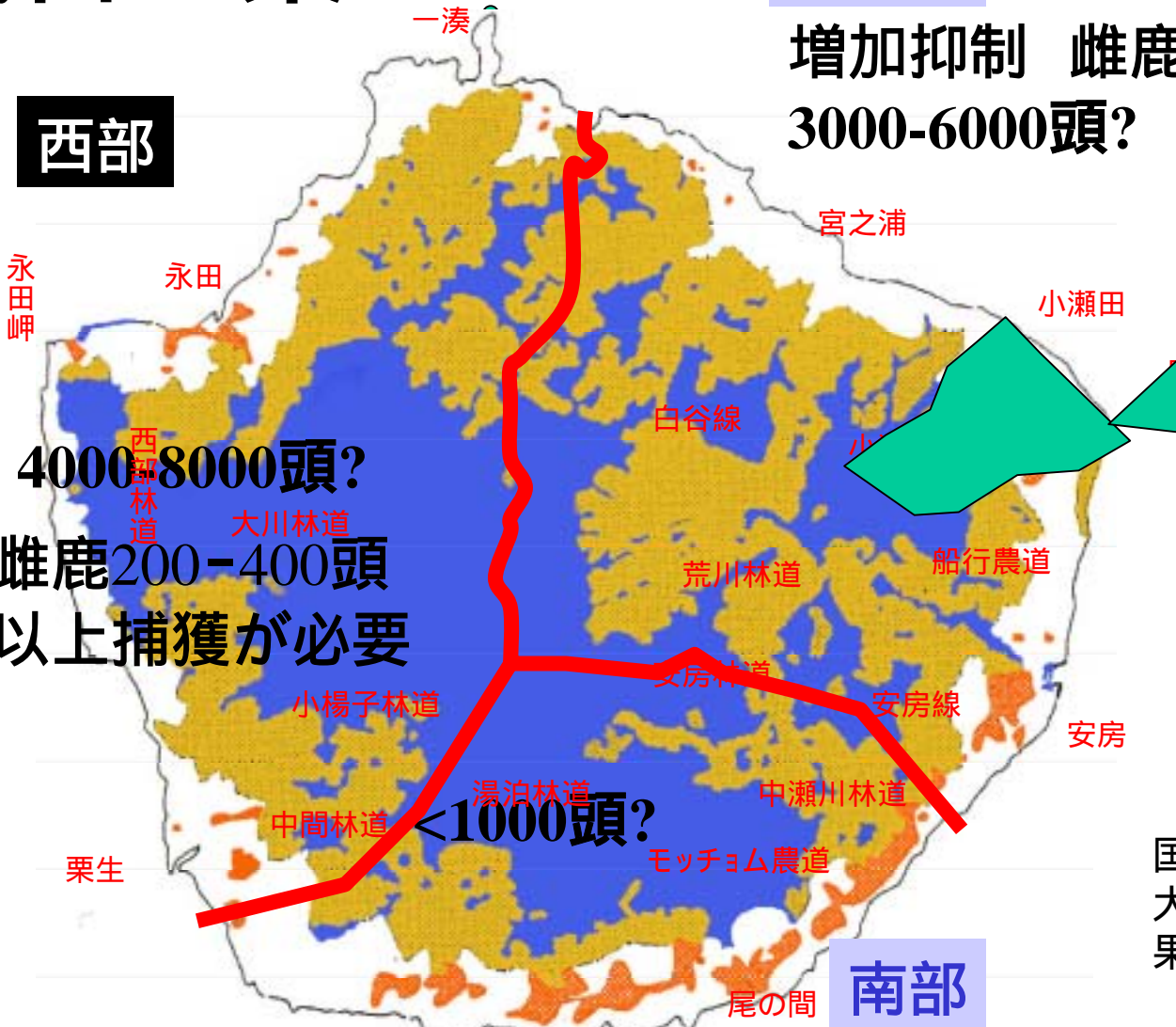
低中標高部に多い? (前岳ドーナツ状分布)

3 地域管理案

個体数は自然推移。農林業被害対策

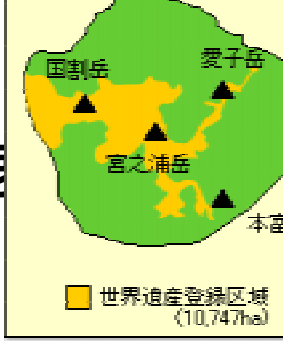
西部

4000-8000頭?
雌鹿200-400頭
以上捕獲が必要



北東部

増加抑制 雌鹿
3000-6000頭?



愛子岳特別保護区案

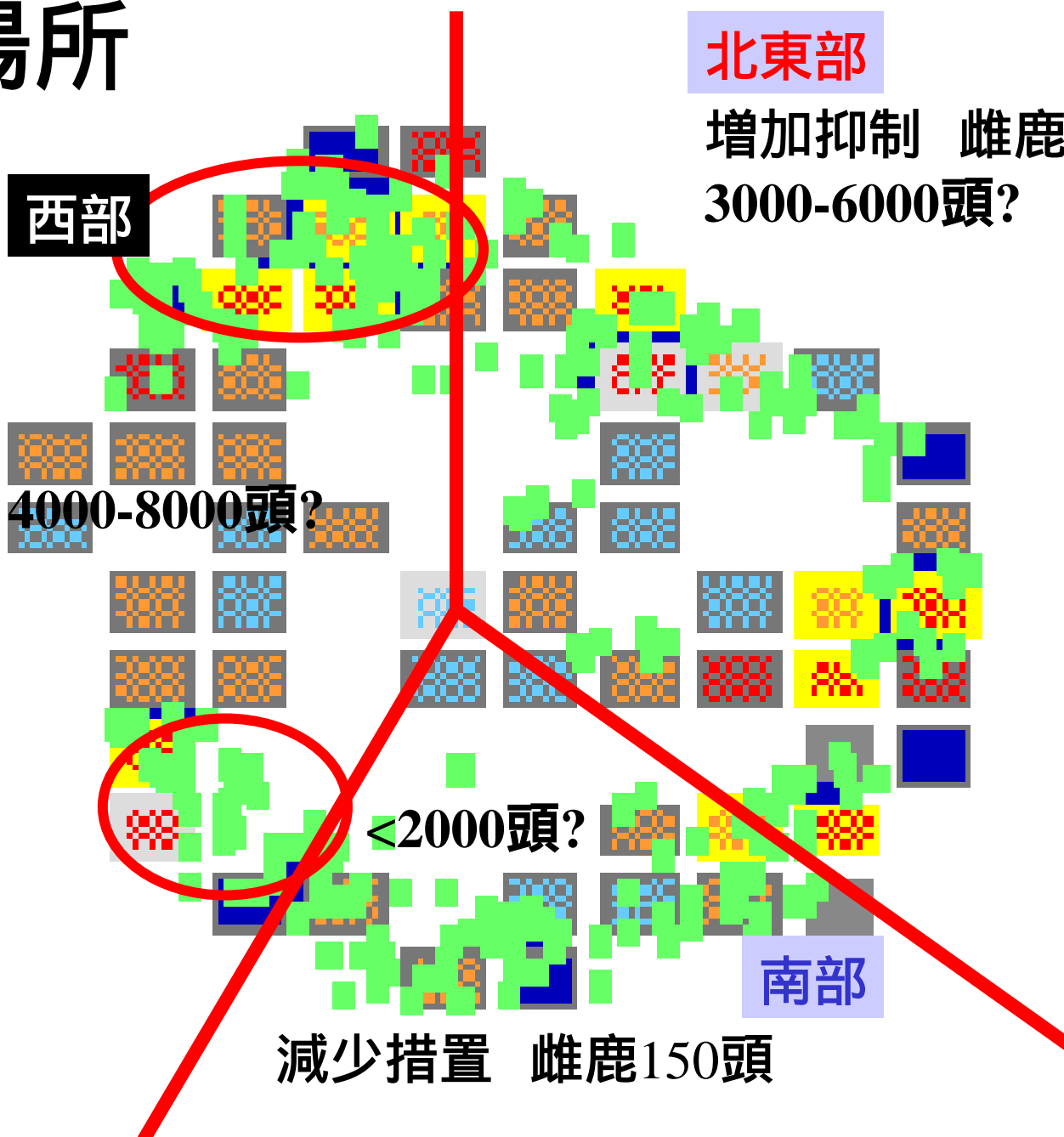
南部

減少措置 雌鹿100-150頭捕獲

国有林
大面積伐採地な
果樹園

捕獲場所

個体数は自然推移。農林業被害対策
北東部と南部に集中すべき



西部

4000-8000頭?

<2000頭?

北東部

増加抑制 雌鹿200頭
3000-6000頭?

南部

減少措置 雌鹿150頭

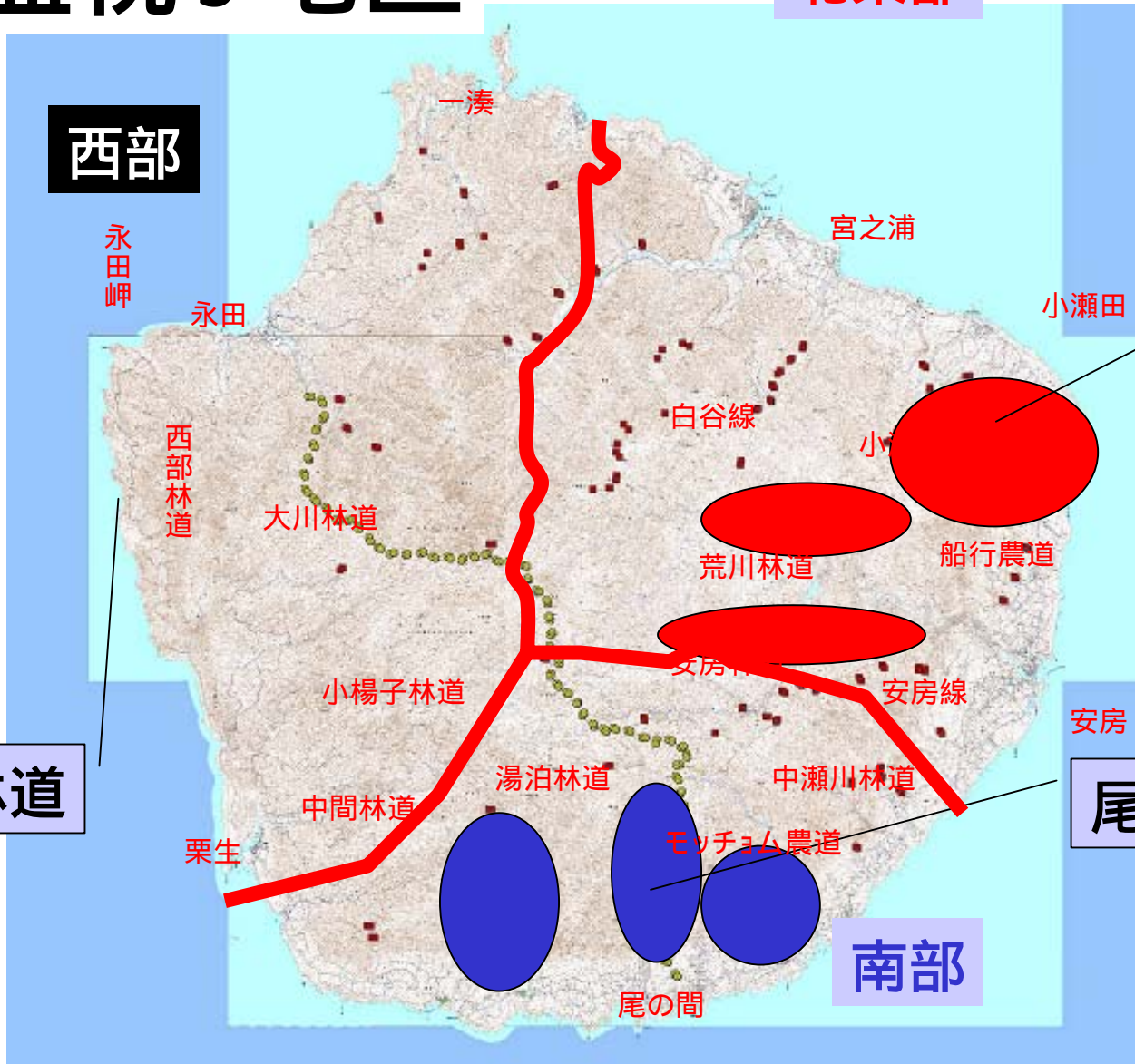
立澤さん描きなおしお願い

継続監視3地区

北東部

西部

調査方法はそれぞれの担い手が創意工夫



愛子岳

長峰

西部林道

尾の間歩道

南部

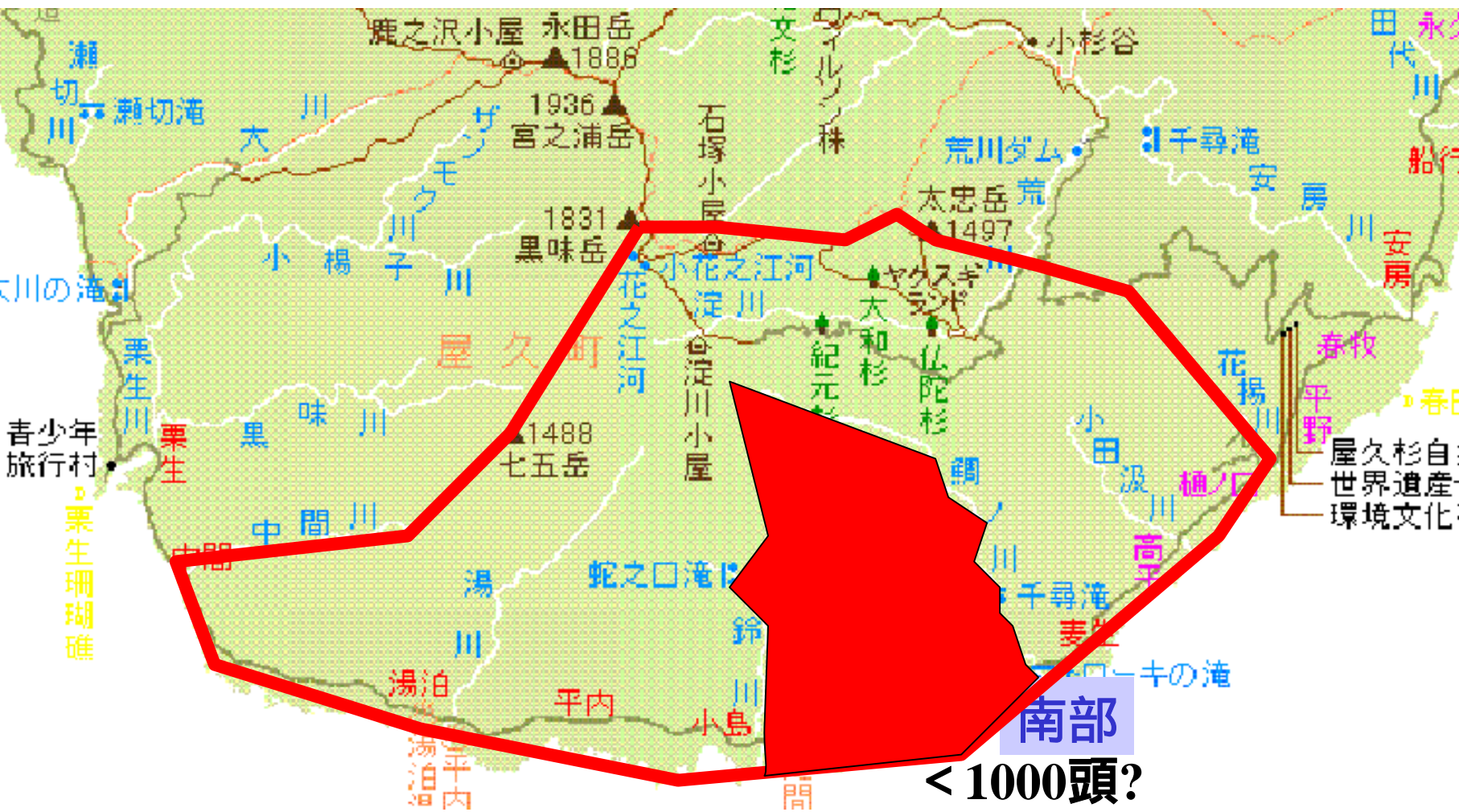
図・藤田貞さん、午原徹一さん

愛子岳重点管理区域案

- 女川集水域を含む集落
- 最近のおよその雌鹿捕獲数
- 個体数推定方法

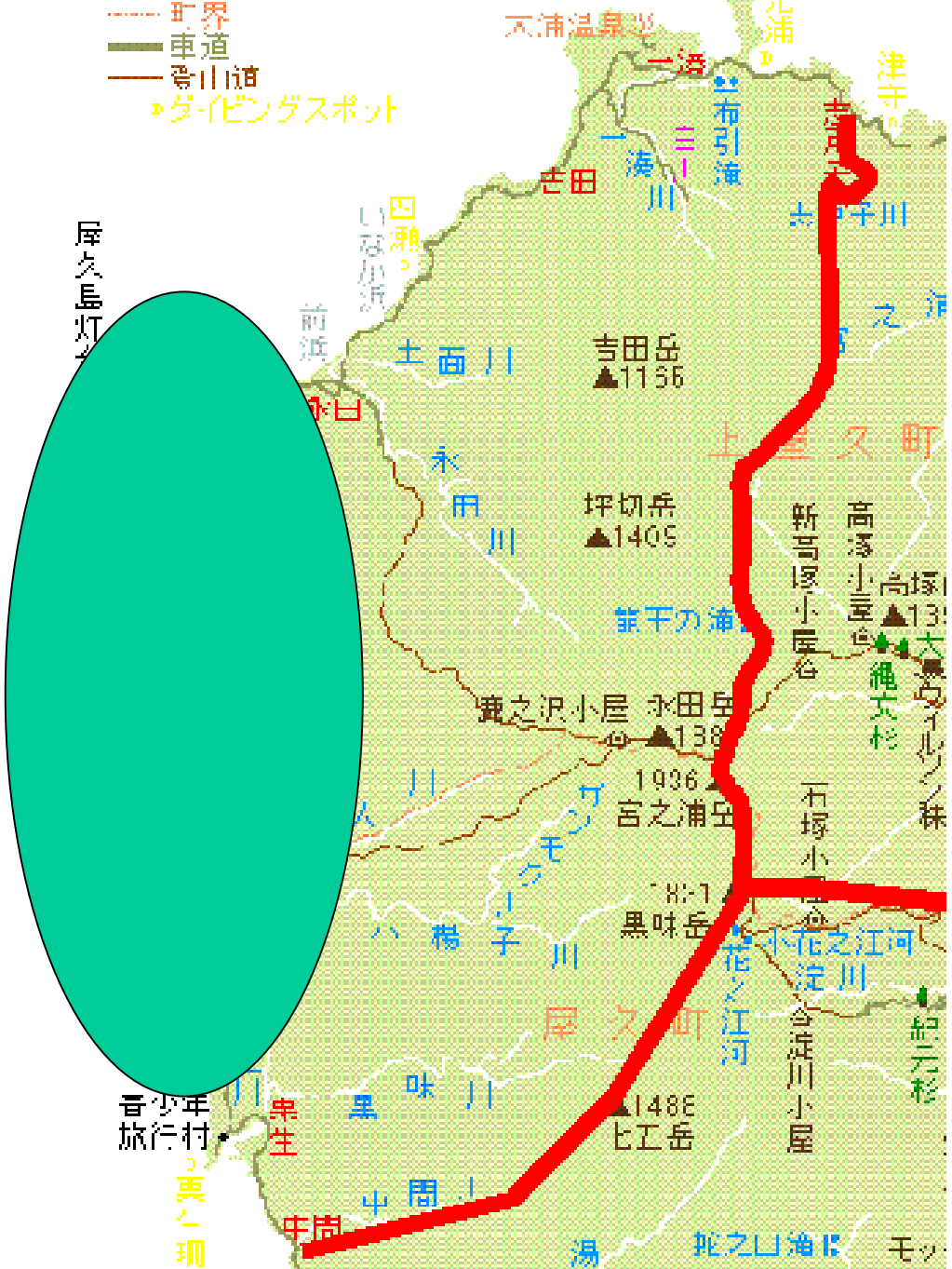


尾の間重点調査区域(案)



西部林道重点監視区域案

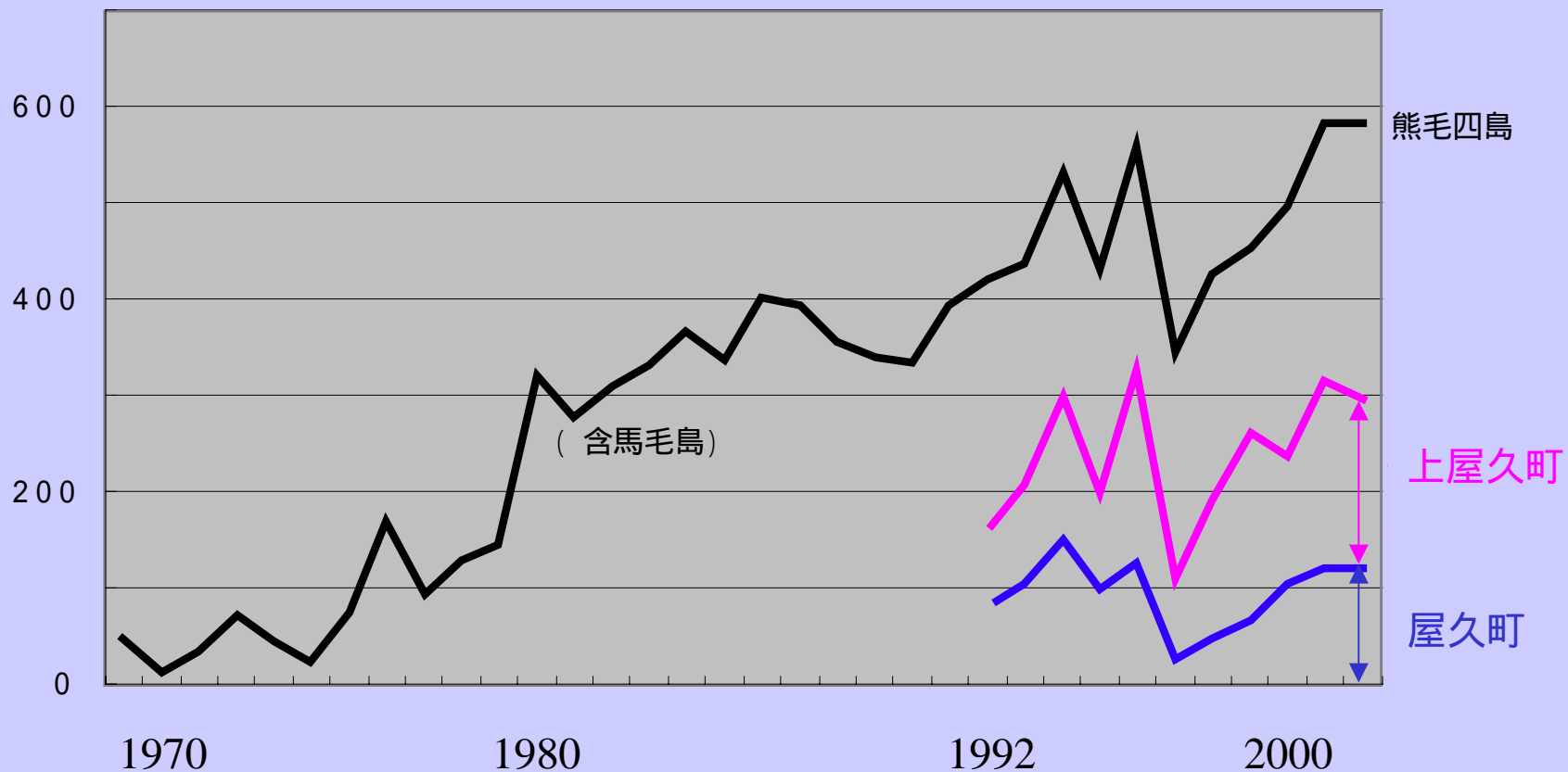
- 原則として自然増加に任せ
- 目視調査等で増加率を調査する



なすべきこと(1)・鹿個体群調査

- 捕獲統計の充実
 - 性比、成獣亜成獣別、3地区別の把握
- 1日1人当たり捕獲効率(標本調査)
 - 捕獲地点(GPS)、日時、性別 国有林内捕獲効率
- 鹿3地区別増減傾向の調査(目視調査)
 - 外周道路・林道沿いの夜間目視調査
- 鹿垂直分布の調査
 - 定点自動観測(赤外線カメラ・安房林道)
 - 尾の間歩道、愛子岳

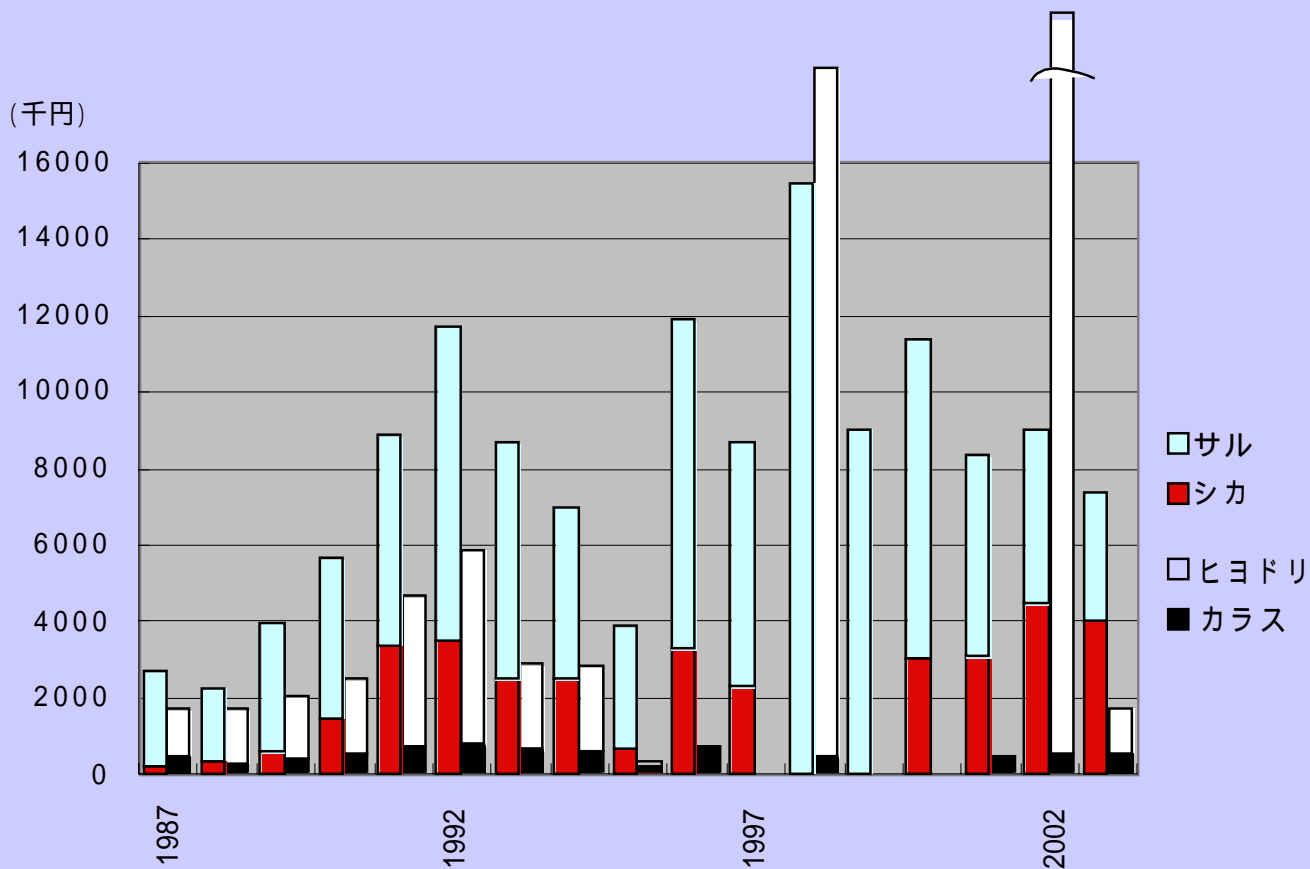
鹿児島県捕獲統計



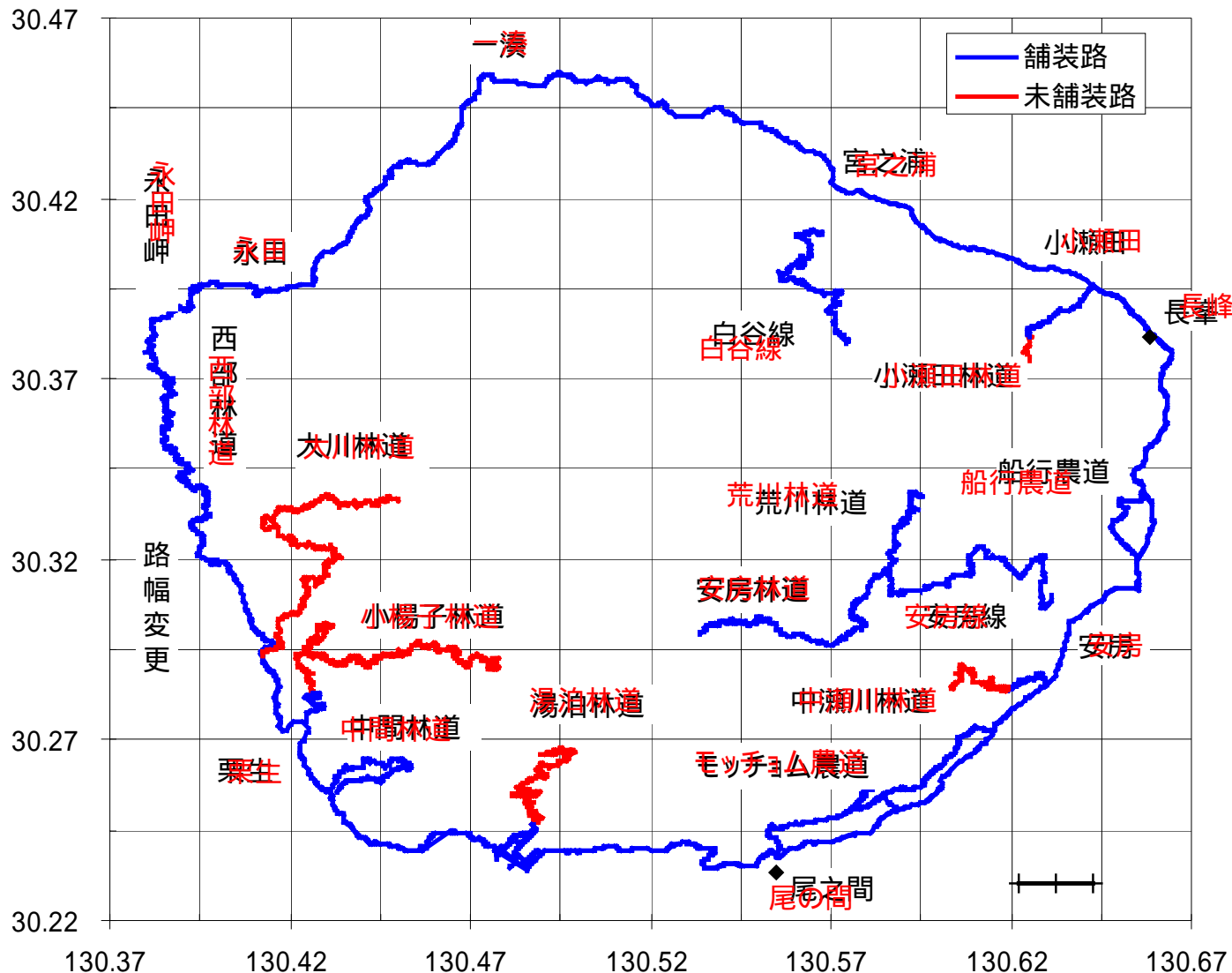
なすべきこと(2)

- 植生
 - 防護柵内外の植生回復調査
 - 植生保護柵事業(より広域に囲い、保全対象種を守る 植生回復調査)
- 農林業被害対策
 - 被害意識調査(被害調査・対策は行政)
 - 被害対策としての捕獲・柵の有効性解析
- 有効利用・創意工夫(屋久島式)

野生鳥獣農林業被害額の推移



調査路線 (総延長202.9km)



各路線 3回ずつ